

(付録) IV

国内インバウンドにおける訪日外国人の入国空港別消費動向

安部 雅人

(公益財団法人東北活性化研究センター)

第1節 はじめに

2017年3月28日、「観光立国基本計画」が閣議決定された¹。この基本計画により、2020年までに、①国内旅行消費額を21兆円にする、②訪日外国人旅行者数を4,000万人にする、③訪日外国人旅行消費額を8兆円にする等の目標が掲げられ、これらの目標の達成のために、政府全体として講ずべき施策等が定められている。

実際、2017年の訪日外国人数は、28,691,073人となっており²、その内、25,441,593人が観光目的の訪日となっている。当然ながら、東北地方6県および新潟県（以下、「東北圏」という。）にとっても訪日外国人の増加は、地域振興と共に、地方創生の切り札として大きく期待されている。

そこで、国内インバウンドにおける訪日外国人の入国空港別消費動向について着目したい。訪日外国人の多くは、その訪日手段として飛行機を利用することが多いことから、日本に最初に降り立つ入国空港がその後の国内における滞在先の選定と訪日外国人旅行消費動向に密接に関わってくる。

よって、本章では、英米欧豪地域およびアジア地域からの訪日外国人の観点から、国内における入国空港としての選択状況と国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費動向について分析し検証するものである。

第2節 国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費単価(英米欧豪地域)

国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費単価(英米欧豪地域)については³、表1のとおりである(別頁参照)。

実際、英米欧豪地域からの訪日外国人として仙台空港（以下、「仙台」という。）を入国空港として選んでいる人はいない。圧倒的に東京国際空港（羽田空港）（以下、「羽田」という。）および成田国際空港（以下、「成田」という。）を入国空港として選んでいる。関西国際空港（以下、「関西」という。）および中部国際空港（以下、「中部」という。）については、羽田および成田と比べて入国空港として選んでいる訪日外国人の数が少ない。

※筆者の許可なしの対外言及・引用は、お控え願います。本稿の全文または一部を引用・転載・複製する際には、必ず出所元を明記願います。

1 観光庁、<http://www.mlit.go.jp/kankocho/news> (March 29, 2017) 参照。

2 (国際観光振興機構 2017) 参照。

3 「国籍・地域」については、本来、「国籍」とは、個人と特定の国家を法的に結びつける絆である。当然ながら、訪日外国人の場合、我が国に入国する際、国際パスポートの提示および必要に応じて査証の所得が求められるが、我が国において、国際法上、「国家」とは認められていない「台湾」若しくは、「一国二制度」に基づき独自のパスポートを所持している「香港」、「澳門」からの訪日外国人については、「国籍」ではなく、「地域」として認識し、計上している。

また、入国空港別に英米欧豪の各地域における1人1回当たりの旅行消費単価をみてみると次のとおりとなる。

英国の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に145,285円/人(成田入国)、149,167円/人(羽田入国)となり、回答者が少数ではあるが、383,700円/人(新千歳空港(以下、「新千歳」という。)入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、156,792円/人となっており、他国の同じ世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層と比べて少ないようである。

ドイツの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に131,676円/人(成田入国)、187,262円/人(羽田入国)となっており、回答者が少数ではあるが、267,883円/人(新千歳入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、260,207円/人となっている。

フランスの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に180,329円/人(成田入国)、164,127円/人(羽田入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、197,845円/人となっている。

イタリアの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に141,296円/人(成田入国)、162,515円/人(関西入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、128,554円/人となっている。

スペインの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に201,229円/人(成田入国)、157,879円/人(関西入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、293,852円/人となっている。

ロシアの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に174,833円/人(成田入国)、164,798円/人(新千歳入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、116,657円/人となっている。

米国の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に153,904円/人(成田入国)、134,899円/人(関西入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、179,776円/人となっている。

カナダの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に124,575円/人(成田入国)、137,706円/人(羽田入国)となり、回答者が少数ではあるが、374,284円/人(新千歳入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、209,251円/人となっている。

オーストラリアの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に218,900円/人(成田入国)、226,762円/人(羽田入国)となり、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、260,598円/人となっている。

また、英米欧豪地域における各国(全体)の点からみて1人1回当たりの旅行消費単価の高い国は、オーストラリアの1人1回当たりの旅行消費単価215,504円/人であり、次にスペインの1人1回当たりの旅行消費単価194,398円/人、3番目にロシアの1人1回当たりの旅行消費単価172,766円/人となっている。

さらに、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層の点からみて1人1回当たりの旅行消費単価の高い国は、スペインの1人1回当たりの旅行消費単価293,852円/人であり、次にオーストラリアの1人1回当たりの旅行消費単価260,598円/人、3番目にドイツの1人1回当たりの旅行消費単価260,207円/人となっている。

表1 国籍・地域別 1人1回当たりの旅行消費単価（英米欧豪地域）

(2016年)暦年(1-12月期)(単一回答)(単位)回答数:人・消費単価:円/人)

調査項目	全体		英国		ドイツ		フランス		イタリア		スペイン		ロシア		米国		カナダ		オーストラリア		その他		
	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	
全体	33,575	129,367	437	151,665	348	147,566	405	165,261	617	146,939	266	194,398	351	172,766	2,286	152,690	476	137,958	609	215,504	316	160,140	
入国空港	新千歳空港	1,759	102,867	2	383,700	2	267,883	0	-	0	-	2	172,017	29	164,798	47	178,069	2	374,284	11	241,962	2	250,378
	函館空港	94	89,115	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	仙台空港	79	97,703	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	新潟空港	48	137,176	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	245,164	0	-	1	53,413	0	-
	東京国際空港 (羽田空港)	3,588	147,218	193	149,167	119	187,262	151	164,127	70	161,092	52	218,234	3	110,485	201	142,938	139	137,706	100	226,762	30	183,282
	成田国際空港	9,891	151,467	209	145,285	135	131,676	172	180,329	437	141,296	153	201,229	313	174,833	1,656	153,904	272	124,575	408	218,900	203	169,245
	小松空港	102	55,902	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	富士山静岡空港	116	112,136	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	中部国際空港	1,238	109,461	3	36,515	25	129,664	0	-	2	73,210	3	89,664	0	-	57	134,066	0	-	1	40,079	12	52,309
	関西国際空港	9,138	130,792	23	233,571	62	99,820	76	136,271	105	162,515	55	157,879	3	162,926	244	134,899	51	189,031	78	196,774	57	133,530
	広島空港	107	124,015	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	168,100	1	66,040	0	-	0	-
	福岡空港	3,672	110,060	4	172,660	5	219,301	4	180,460	3	147,869	0	-	1	140,000	44	240,996	3	276,447	5	134,328	9	213,843
	那覇空港	1,931	83,763	0	-	0	-	1	180,425	0	-	1	343,806	0	-	8	100,492	3	106,909	2	62,500	1	115,842
その他	291	90,835	3	93,941	0	-	1	104,875	0	-	0	-	2	6,340	23	172,958	5	137,387	3	21,230	1	52,999	
世帯年収 (単一回答)	500万円未満	4,647	131,691	32	156,124	27	208,359	49	175,985	60	138,481	38	187,188	59	166,640	124	129,108	28	124,726	45	203,876	36	185,720
	500万円以上 1,000万円未満	2,713	146,024	58	166,727	24	172,624	44	183,242	45	143,174	34	177,733	11	214,766	185	166,140	49	171,339	67	229,023	22	132,775
	1,000万円以上 2,000万円未満	1,026	189,731	42	156,792	22	260,207	15	197,845	21	128,554	8	293,852	5	116,657	222	179,776	33	209,251	55	260,598	16	182,227
	2,000万円以上 3,000万円未満	235	186,066	8	199,006	3	280,897	4	110,790	0	-	2	143,937	1	60,000	101	242,625	9	160,934	10	221,173	4	76,405
	3,000万円以上	230	186,301	15	162,639	1	50,000	4	364,822	0	-	1	245,476	2	519,706	58	214,964	3	49,983	12	279,784	4	129,620

(注1) 本集計表の「旅行消費単価」は「旅行中支出額」の平均値であり、パッケージツアー参加費に含まれる日本国内支出や日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃を含まない。

(注2) 全体回答数と各設問の属性別回答数合計値との差は各設問の無回答数である。

(注3) 全体の旅行消費単価は国籍別訪日外客数をウェイトとする加重平均である。

(出所) 観光庁(2016)をもとに筆者作成。

第3節 国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費単価(アジア地域)

国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費単価(アジア地域)については、表2のとおりである(別頁参照)。アジア地域からの訪日外国人として仙台を入国空港として選んでいる人は、少なく韓国・台湾・中国・タイ等からの訪日外国人に限られている。アジア地域からの訪日外国人は、圧倒的に羽田・成田・関西を入国空港として選んでいる。

また、入国空港別にアジアの各地域における1人1回当たりの旅行消費単価をみてみると次のとおりとなる。

韓国の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に62,794円/人(関西入国)、78,495円/人(羽田入国)となり、回答者が少数ではあるが、125,283円/人(広島空港(以下、「広島」という。)入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、77,873円/人となっており、他国の同じ階層と比べて少ないようである。

台湾の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に105,991円/人(関西入国)、96,734円/人(成田入国)となっており、回答者が少数ではあるが、121,696円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、151,972円/人となっている。

香港の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に134,732円/人(関西入国)、149,291円/人(成田入国)、となり、回答者が少数ではあるが、170,601円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、182,405円/人となっている。

中国の1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に193,665円/人(関西入国)、213,168円/人(成田入国)となり、回答者が少数ではあるが、202,039円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、343,662円/人となっている。

タイの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に99,100円/人(成田入国)、102,372円/人(関西入国)となり、回答者が少数ではあるが、101,791円/人(新千歳入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、123,001円/人となっている。

シンガポールの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に156,192円/人(羽田入国)、146,415円/人(成田入国)となり、回答者が少数ではあるが、157,607円/人(福岡空港(以下、「福岡」という。)入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、125,360円/人となっている。

マレーシアの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に125,678円/人(成田入国)、95,554円/人(関西入国)となり、回答者が少数ではあるが、68,460円/人(新千歳入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、214,843円/人となっている。

表2 国籍・地域別 1人1回当たりの旅行消費単価（アジア地域）

(2016年)暦年(1-12月期)(単一回答)(単位)回答数:人・消費単価:円/人

調査項目	全体		韓国		台湾		香港		中国		タイ		シンガポール		マレーシア		インドネシア		フィリピン		ベトナム		インド		
	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	回答数	消費単価	
全体	33,575	129,367	13,685	61,569	3,845	92,900	917	134,868	5,352	190,406	728	104,286	290	144,087	848	105,479	481	115,620	580	103,909	175	160,122	563	136,165	
入国空港	新千歳空港	1,759	102,867	818	54,313	368	75,921	79	139,157	204	167,783	85	101,791	5	233,479	99	68,460	2	220,136	0	-	0	-	2	35,648
	仙台空港	79	97,703	36	58,064	25	67,989	0	-	17	154,698	1	55,200	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	新潟空港	48	137,176	20	100,933	1	121,500	0	-	23	148,347	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	東京国際空港 (羽田空港)	3,588	147,218	1,104	73,561	290	121,696	64	170,601	577	202,039	80	107,891	99	156,192	30	113,665	169	116,824	83	93,049	23	120,645	11	137,974
	成田国際空港	9,891	151,467	1,567	78,495	968	96,734	205	149,291	1,460	213,168	307	99,100	96	146,415	374	125,678	172	110,791	260	104,635	75	173,629	449	145,916
	中部国際空港	1,238	109,461	319	52,762	151	74,322	62	120,587	496	132,392	34	94,992	11	140,404	5	146,428	1	60,000	38	98,777	13	105,945	5	52,039
	関西国際空港	9,138	130,792	4,086	62,794	1,149	105,991	291	134,732	1,858	193,665	166	102,372	59	108,724	330	95,554	130	112,670	175	103,737	51	148,183	89	101,232
	広島空港	107	124,015	29	125,283	43	69,757	7	136,438	22	184,424	0	-	1	666,667	1	157,000	0	-	0	-	1	360,000	0	-
	福岡空港	3,672	110,060	2,931	64,104	275	103,017	83	123,142	195	275,750	54	134,914	17	157,607	6	76,975	4	329,951	16	141,324	12	223,921	1	50,000
	那覇空港	1,931	83,763	1,132	52,743	356	54,414	104	104,154	321	138,226	0	-	1	20,000	1	27,250	0	-	0	-	0	-	0	-
	その他	291	90,835	146	37,785	41	77,602	7	148,443	40	121,582	1	150,000	1	8,000	1	0	3	59,416	7	148,845	0	-	6	10,536
世帯年収	500万円未満	4,647	131,691	1,942	58,865	596	96,730	96	124,971	841	192,914	118	103,327	43	144,611	155	101,926	92	108,435	96	102,033	32	168,107	138	166,666
	500万円以上 1,000万円未満	2,713	146,024	1,599	64,120	163	102,664	44	124,666	260	282,287	16	114,348	20	158,353	26	107,373	14	148,031	9	140,017	1	269,970	22	163,532
	1,000万円以上 2,000万円未満	1,026	189,731	337	77,873	62	151,972	28	182,405	83	343,662	10	123,001	20	125,360	14	214,843	4	219,690	14	172,509	0	-	15	223,709
	2,000万円以上 3,000万円未満	235	186,066	60	76,373	7	144,507	3	302,985	5	250,810	6	134,796	1	266,076	3	198,441	1	58,000	4	94,757	0	-	3	56,552
	3,000万円以上	230	186,301	56	108,736	11	144,349	3	239,100	32	262,019	9	73,163	4	136,684	3	44,175	2	171,350	5	82,978	2	201,903	3	144,619

(注1) 本集計表の「旅行消費単価」は「旅行中支出額」の平均値であり、パッケージツアー参加費に含まれる日本国内支出や日本の航空会社および船舶会社に支払われる国際旅客運賃を含まない。

(注2) 全体回答数と各設問の属性別回答数合計値との差は各設問の無回答数である。

(注3) 全体の旅行消費単価は国籍別訪日外客数をウェイトとする加重平均である。

(出所) 観光庁(2016)をもとに筆者作成。

インドネシアの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に110,791円/人(成田入国)、116,824円/人(羽田入国)となり、回答者が少数ではあるが、112,670円/人(関西)入国という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、219,690円/人となっている。

フィリピンの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に104,635円/人(成田入国)、103,737円/人(関西入国)となり、回答者が少数ではあるが、93,049円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、172,509円/人となっている。

ベトナムの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に173,629円/人(成田入国)、148,183円/人(関西入国)となり、回答者が少数ではあるが、120,645円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の回答者がいないものの、3,000万円以上の特別な富裕層においては、201,903円/人となっている。

インドの1人1回当たりの旅行消費単価については、その回答数の多い順に145,916円/人(成田入国)、101,232円/人(関西入国)となり、回答者が少数ではあるが、137,974円/人(羽田入国)という数値もみられる。世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層においては、223,709円/人となっている。

また、アジア地域における各国(全体)の点からみて1人1回当たりの旅行消費単価の高い国は、中国の1人1回当たりの旅行消費単価190,406円/人であり、次にベトナムの1人1回当たりの旅行消費単価160,122円/人、3番目にシンガポールの1人1回当たりの旅行消費単価144,087円/人となっている。

さらに、世帯年収「1,000万円以上2,000万円」未満の一般的な富裕層の点からみて1人1回当たりの旅行消費単価の高い国は、中国の1人1回当たりの旅行消費単価343,662円/人であり、次にインドの1人1回当たりの旅行消費単価223,709円/人、3番目にインドネシアの1人1回当たりの旅行消費単価219,690円/人となっている。

第4節 むすび

本章では、英米欧豪地域およびアジア地域からの訪日外国人を対象とした入国空港別消費動向について着目すると共に、国籍・地域別1人1回当たりの旅行消費単価の観点から分析し検証したものである。

英米欧豪地域からの訪日旅行者は、仙台を入国空港として選んでいる人がほとんどいないものの、新潟空港（以下、「新潟」という。）を入国空港として選んでいる人については、少ないながらも存在している。英米欧豪地域からの訪日旅行者は、圧倒的に羽田および成田を入国空港にしており、1人1回当たりの旅行消費単価も高い。

そうした点では、羽田および成田は、地理的に東北圏とも近いことから、これらの空港から入国した英米欧豪地域からの訪日旅行者を鉄道や高速道路を利用して東北圏に呼び込むことも可能である。

他方、アジア地域からの訪日旅行者は、仙台や新潟を入国空港として選んでいる人が少ないながらも存在している。

実際、羽田および成田を選ぶアジア地域からの訪日旅行者の数は、確かに多いながらも、関西・中部・新千歳・福岡・那覇空港（以下、「那覇」という。）等を）を入国空港として選ぶアジア地域からの訪日旅行者の数も増えつつある。

さらに、国籍・地域別によっては、羽田および成田を入国空港として選んだアジア地域からの訪日旅行者の1人1回当たりの旅行消費単価と比較して関西・中部・新千歳・福岡・那覇等を入国空港として選んだアジア地域からの訪日旅行者の1人1回当たりの旅行消費単価の方が高い場合もみられる。

このようにアジア地域からの訪日外国人は、年々、地方の空港を入国空港として選ぶ傾向がみられることから、今後、アジア地域から東北圏への訪日外国人を増やすためにも、アジア地域の空港から直行便にて東北圏の各空港への乗入れ便を増やす等の方策を検討していかなければならない。

参考文献

（日本語文献）

観光庁、2016、「訪日外国人消費動向調査集計表 平成28年（2016年）暦年（1-12月期）」、観光庁、1-24頁。

国際観光振興機構、2017、「訪日外客数（2018年2月推計値）」、国際観光振興機構、1-6頁。

東北発・新型アグリツーリズム

2018年3月発行

編著者：東北発・アグリツーリズム（発展タイプ）検討委員会（大江靖雄・安部雅人編）

発行所：公益財団法人 東北活性化研究センター

住 所：〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9番10号（セントレ東北9階）

T E L : 022-222-3357

F A X : 022-225-0082

U R L : <http://www.kasseiken.jp/>

※ 本稿掲載の全文は、当センターホームページ
(<http://www.kasseiken.jp/business/investigation/2017.php>) にも
掲載いたしております。御参考になれば幸甚に存じ上げます。